



# 県政フラッシュ



## 2/19 ~20 ~復帰40周年記念事業~ OMC(世界理容美容機構)アジアカップ2012及び第63回全国理容競技大会の開催



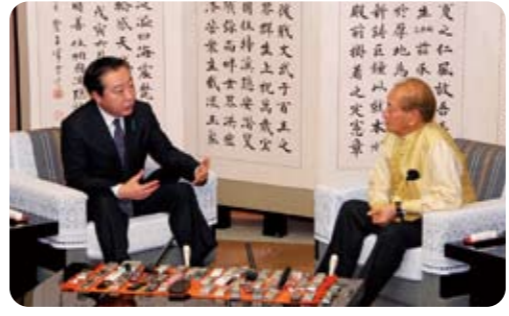
表彰式参加者を前にあいさつを述べる上原副知事

日本で初の開催となるOMCアジアカップ2012及び沖縄県では初の開催となる第63回全国理容競技大会が、沖縄コンベンションセンターで開催された。アジアカップは、8つの国と地域から延べ148名の理美容代表選手が参加、併せて開催された全国理容競技大会は、各都道府県から選出された代表選手192名により熱戦が繰り広げられた。

上原副知事は表彰式で「参加された選手の方々の洗練された理美容の技術やデザインの獨創性など、技と美と心を極める理美容師の流儀に触れることができ、沖縄県民も魅了された」とあいさつした。

沖縄県では、復帰40周年を記念し各種事業を企画している。その1番目の事業としてこの両大会を開催、その中で鎮魂の思いと平和への願いを込め全国の理容師により作成された20万羽の折り鶴が、沖縄県に贈呈された。折り鶴は現在、平和祈念資料館で展示している。

## 2/27 野田内閣総理大臣が 就任後初来県



県庁で行われた野田内閣総理大臣との会談の様子

就任後初めて来県した野田佳彦内閣総理大臣は、県庁で仲井真知事及び県幹部と会談し、米軍基地問題や、沖縄振興について意見交換した。

会談で仲井真知事は、米軍普天間飛行場について「辺野古移設案は時間がかかる。国内の別の地域を探した方が早い」と、同飛行場の県外移設を求めた。

これに対し野田総理大臣は、「辺野古崎への移転が日米両政府は唯一有効な方法と確認しながら進めている」と述べ、名護市辺野古へ移設する政府方針を堅持する考えを示した。

また、野田総理大臣は、民主党政権下の普天間問題の迷走や、前沖縄防衛局長の不適切発言について、仲井真知事に謝罪した。

## 3/4 ダイキンオーキッドレディス ゴルフトーナメント表彰式



優勝した齊藤愛璃プロへ県知事賞を授与

3月2日～4日の3日間、琉球ゴルフ倶楽部(南城市)にて、国内女子ゴルフツアーの開幕戦である「ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」が開催された。

今年25周年の節目を迎えた今大会では、デビュー1年目の齊藤プロがプレーオフの末に初優勝を飾り、最終日の会場は大きな盛り上がりを見せた。また、県出身のアマチュアゴルファーである比嘉真美子選手が16位タイと大健闘し、注目を集めていた。

大会終了後には引き続き表彰式が行われ、仲井真知事より優勝した齊藤プロへ県知事賞を贈呈、併せて、ここ沖縄にて25年間大会を継続いただいているダイキン工業株式会社井上会長へ、知事より感謝状を贈呈した。

## 3/13 復帰40周年記念式典 推進本部が発足



推進本部の看板を設置する仲井真知事

3月9日、県は復帰40周年記念式典推進本部を県庁内に設置し、同月13日には本部長となる仲井真弘多知事と事務局長の饒平名知成統括監が看板を掲げた。

記念式典は、国との共催の下、5月15日(火)に宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催する。

参列者は、野田佳彦首相、衆参両院議長、最高裁判所長官をはじめ、沖縄県の関係者、各界代表、沖縄県と関係の深い外国関係者など約1700名を予定。

知事は「日本全国のお力添えあって沖縄も見違えるようになった。これから先に向かう決意を新たに。沖縄の文化・自然を誇りにしっかりと国際社会の中でやっていく。140万県民が手を取り合いあい21世紀ビジョンの実現にまい進したい」と述べた。

14日	13日	12日	11日	7日	5日	4日	3日	
沖縄県行政監理本部	要請 OISTとの連携協定書調印式 仲井建臣氏ほか	要請 復帰40周年記念式典推進本部看板掲架式 南部離島町村長議長連絡協議会会長	土木建築部 法令遵守に係る研修会	要請 東日本大震災1周年追悼式(国立劇場 東京)	要請 東日本大震災被災者支援県民会議感謝状贈呈式	表敬 吉本興業(株) 代表取締役社長 大崎洋氏	要請 沖繩平和賞への寄付金贈呈式 ※沖繩経済同友会	要請 (社)沖繩県トラック協会会長 國吉保武氏
						面談 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント表彰式	面談 アジアナ航空社長 尹永斗氏	

2日	3月	27日	25日	20日	19日	18日	17日
要請 宮古島市長 下地敏彦氏		面談 内閣総理大臣 野田佳彦氏	面談 沖縄国際大学創立40周年記念式典 祝賀会	意見交換会 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との意見交換会	OMC(世界理容美容機構)アジアカップ2012 ウエルカムパーティー	表敬 防衛大臣 田中直紀氏	沖繩県軍用地転用促進・基地問題協議会要請及び 沖振法軍転法支援依頼



沖縄の人口・世帯の動き

人口 140万5,740人  
※前月比862人増

世帯 53万3,424世帯  
※前月比483世帯増

※平成24年 2月1日現在

## 目次

- 2 県政フラッシュ
- 4 特集1 第6回太平洋・島サミット開催
- 6 特集2 特定非営利活動促進法が変わりました!
- 8 特集3 子どもと女性を性犯罪等の被害から守るために
- 10 飛び出せOKINAWA!! ヒト・モノ・企業のグッドジョブ 「株式会社 琉珉珉」
- 12 県のうごき1 墓地等の設置については事前に許可をとりましょう!
- 13 県のうごき2 地域の子は地域で守り育てよう!
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつづくよ人の輪地域の和 「金武町」

## 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならず、公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

美ら島沖縄 検索  
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課  
TEL.098-866-2020

表紙について

次代へつなげたい沖縄

師匠から弟子へつなぐ「読谷山花織」  
15世紀初め頃から織られ始めましたが、需要の減退で織り手も少なくなり消滅の危機に。昭和30年代に、有志によって技術が復興され、昭和50年に沖縄県指定無形文化財に、昭和51年に経済産業大臣指定伝統的工芸品に認定。(撮影協力:読谷山花織 座喜味工房)